



各 位

2018年10月24日

会 社 名 株式会社大気社
代 表 者 名 代表取締役社長 芝 利昭
コ ー ド 番 号 1979 東証第1部
問 合 せ 先 取締役常務執行役員 管理本部長
中川 正徳
(TEL 03-5338-5052)
(URL <https://www.taikisha.co.jp/>)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年3月期第2四半期累計期間（2018年4月1日～2018年9月30日）において、下記のとおり特別損失を計上いたします。また、これに加えて、最近の業績の動向等を踏まえ、2018年5月15日に公表いたしました2019年3月期第2四半期（累計）（2018年4月1日～2018年9月30日）の業績予想を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 連結子会社株式の減損処理（個別決算）

海外連結子会社であるGeico S.p.A.及び同社の連結子会社であるJ-CO America Corporationにおいて、米国の大型プロジェクトの採算が悪化したこと等により業績が計画より大きく下回り、株式取得時に見込まれた超過収益力が低下したためGeico S.p.A.の株式を減損処理したことから、関係会社株式評価損2,788百万円を特別損失に計上いたします。

なお、個別決算で計上した関係会社株式評価損は連結決算では振り戻され、「(2) のれんの一時償却（連結決算）」に記載するのれん償却額が連結決算への影響額となります。

(2) のれんの一時償却（連結決算）

上記の通り、個別決算において海外連結子会社であるGeico S.p.A.株式の減損処理をしたことにより、「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」の規定に基づき、連結決算において同社に係るのれんの未償却残高について一時償却を行い、のれん償却額として1,859百万円を特別損失に計上いたします。

2. 業績予想数値の修正

(1) 2019年3月期第2四半期（累計）連結業績予想（2018年4月1日～2018年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2018年5月15日発表)	96,000	4,100	4,600	2,800	81.98
今回修正予想(B)	98,000	3,400	3,900	800	23.48
増減額(B-A)	2,000	△700	△700	△2,000	—
増減率 (%)	2.1	△17.1	△15.2	△71.4	—
(ご参考)前第2四半期（累計）実績 (2018年3月期)	101,078	3,195	3,577	2,287	66.88

(2) 2019年3月期第2四半期（累計）個別業績予想（2018年4月1日～2018年9月30日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2018年5月15日発表)	55,000	4,200	2,900	84.91
今回修正予想(B)	57,300	5,700	1,100	32.29
増減額(B-A)	2,300	1,500	△1,800	—
増減率 (%)	4.2	35.7	△62.1	—
(ご参考)前第2四半期（累計）実績 (2018年3月期)	51,889	4,769	3,341	97.67

(3) 修正理由

個別業績予想につきましては、工事量が期初の予想を上回ったため売上高が増加し、利益面は採算性重視の受注活動やコストダウンに取り組んでまいりました結果、経常利益が期初の予想を上回る見込みですが、特別損失の計上などの要因により四半期純利益は期初の予想を下回る見込みです。

連結業績予想につきましては、売上高は国内の工事量が増加し期初の予想を上回る見込みです。営業利益、経常利益は、個別では期初の予想を上回るものの、海外連結子会社において大型プロジェクトの採算が悪化したことで期初の予想より下回る見込みです。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、個別と同様に特別損失の計上などの要因により期初の予想を下回る見込みです。

なお、通期業績予想につきましては、2018年11月12日に予定しております第2四半期決算発表時に公表する予定です。

(注) 上記の業績予想につきましては、当資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上